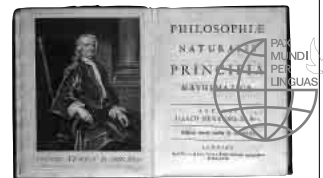


## Contents

- 「私が見た図書館」 山崎 紀子 …… ①  
表紙に掲げられた資料の解説 …… ②  
学生時代と図書館49  
「人生を変えた一冊の本」 上野 義和 …… ③  
「世界をみつめて アイルランド探訪3  
—マンスター—」 澤田 俊明 …… ④  
オフィス・インフォメーション …… ⑤  
司書雑感  
「データベースを巡る国内の動きと本学図書館」  
奥 正敬 …… ⑥  
寄贈図書案内 …… ⑦  
ライブラリー・スケッチ「第二閲覧室 洋書書架」  
山内 美季 …… ⑧  
本学図書館のスペシャルコレクション(19) …… ⑧  
「ドイツ文学わき道散歩(10)」  
小林 ゆかり …… ⑨  
インターミッション(14)「Googleの秘密」  
宮杉 浩 …… ⑨  
マガジンラック(24)  
「知っていますか?図書館の雑誌」 栄 咲子 …… ⑩  
図書館の素朴な疑問コーナー …… ⑪  
スペイン語圏を知る本(その32)  
「ジョン・リプスキ著『ラテンアメリカのスペイン語』」  
評者 坂東 省次 …… ⑫  
中国のほんの話(26)  
「テレビドラマとその原作(2)金庸『天龍八部』」  
陰山 達弥 …… ⑬  
「留学のおもいで」 宮本 恵 …… ⑭  
「図書館ポスター展」 …… ⑮  
ご存知ですか?  
「Japan Knowledge(ジャパンナレッジ)後編」 …… ⑯  
「図書館のこんなこと知らなかった⑤」  
内田 秀作 …… ⑯  
おこしやす、図書館へ  
「図書館には本が無い?」 藤井 達也 …… ⑰  
10月のピックアップコーナー  
「ワイン」 稲垣 宏行 …… ⑰  
書店関係者をお願いするページ  
「洋書店よもやま話」 鳥居 万恭 …… ⑱  
「イブラヒム・ミュテフェリカ 著作本とその書誌」  
照井 菜穂子 …… ⑲  
新着図書紹介  
「現代社会をみつめて3」 石美 真也 …… ⑳  
「日本の歴史1」 稲垣 宏行 …… ㉑  
Book Review Corner …… ㉒  
ライブラリー・カレンダー2004(10月~12月) …… ㉓

### 表紙に掲げられた資料の解説

NEWTON Sir Isaac  
Philosophiae Naturalis Principia Mathematica  
Londini, 1726



#### ニュートン『自然哲学の数学的原理』

アイザック・ニュートン(1643-1727)はイギリスのウールズソープ生まれの数学者、物理学者、天文学者である。1661年、ケンブリッジ大学に奨学生として入学し数学を中心に学んだが、1665年にペストの流行で大学が一時閉鎖されたため、1667年初めまで帰郷した。このとき、彼の3大発見(光のスペクトル、万有引力、微積分)が萌芽を発したとされている。1669年から96年まで教授として在職し、その後、王立造幣局監事や同局長、王立協会会長などを務めた。85歳で没し、国家最高の功労者としてウェストミンスター寺院に葬られた。

『自然哲学の数学的原理』は通称《プリンピキア Principia》とも言われ、初版は1687年に出たが、本書は1726年にロンドンで出版された第3版である。ニュートンは、早くから無限級数を研究して1664年に2項定理を樹立し、流分法(微積分)の思想を求積や接線の問題に応用し、その成果を論文で発表している。流分法の独立の展開(微積分法)の概念を示した『プリンピキア』の構成は、エウクレイデスの『幾何学原理』の構成をそのまま採用している。『プリンピキア』では、定義の次に運動の諸公理と題して3原理とそれを補足して6系をあげている。いわゆる「ニュートンの運動の3原理」として知られているもので、ニュートン力学の根本原理である。

17-18世紀に、近代の自然科学研究の方法と体系はほぼできあがったが、その基礎を築いたのはニュートンである。『プリンピキア』はニュートンの数々の業績の中でも、力学を体系的にまとめた偉大な著作である。

原寸 24.9×19.6cm

『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋し、加筆